

豊浦観光情報局

日中は汗ばむ季節となり、桜の開花が見られ、各自治会においてもお花見が開催される時期となってきました。

町では、町内にいらっしゃる観光客の入込客数を集計しております。平成29年度においては403,400人の入込がありました。豊浦町総合戦略における観光入込客数の基準値である平成26年度と比較しますと、8.4%増加(約30,000人増加)しており、順調に推移している状況です。平成29年度に行われた「第46回いちご豚肉まつり」については、雨天の影響で入込数の大幅な減少となりましたが、「道の駅とようら」については、他ではあまり見られない、新鮮な海産物等の売れ行きが好調であり、集客増の動因となっております。今後も町といたしましては、より多くの観光客にお越しいただくため、町の持つ魅力

を最大限に活用しながら施策を進めてまいります。

続きまして、5月10日以降のインバウンド(外国人が訪れてくる旅行)の受け入れ状況についてお知らせいたします。5月19日はハワイから大人7人、5月25日はシンガポールから大人3人、6月1日はシンガポールから大人6人・子ども2人、6月7日はシンガポールから大人3人の合計21人が「漁港散策体験」と「いちご狩り体験」をするために来町されますので、豊浦町を満喫して各国に帰っていただくような「おもてなし」をしたいと思います。



▲外国人ツアー客と田中隊員で記念撮影

問 産業観光課 商工観光係 ☎ 83-1408

5月1日付で町職員人事異動が次のとおり発令されました。()は異動前
地方創生推進室室長補佐

佐藤 一貴(産業観光課主幹(観光担当))

町長からのそよ風だより 第47回

町長から身近な話題や皆さんへのメッセージを紹介します。

桜も咲きほこり、春の暖かさを感じる今日この頃、町民の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

山間部の雪融けも進み、豊浦町の主たる一次産業の農業においてもそれぞれの分野において着々と作業準備が進んでおり、実りの多き一年となることを願っております。

さて、今年は、各地域の自然保全隊や資源保全隊の総会に出席させていただきました。この組織の目的は、農地維持活動や資源向上を通じて、農地や水路・農道等の地域資源および農村環境の保全・質的向上を図ることを目的とするものです。

具体的には、農用地の草刈りや農道の補修、水路の泥上げやゴミ拾い等の清掃活動、その他に植栽活動、融雪剤散布などを地域一体として取り組んでいるものです。

豊浦町には、山梨地区、新山梨地区、大和地区、大岸・豊泉地区、桜地区の5地区がそれぞれ活発な事業活動を展開し、農業環境の保全に積極的に取り組んでいることに、心より感謝と敬意を申し上げます。

豊浦町といたしましても、農業は重要な産業の核として位置づけしております。今後とも維持・発展させるため、旧大岸鉾山分校を拠点施設として研修生や新規就農者を受入れし、地域に定着することを目指していることから、各地域とさらなる連携協力を深めていきたいと思っております。

暖かくなつたとは言え、朝晩と日中の寒暖の差が激しいので、くれぐれも体調管理に充分注意を払われ、お元気に過ごされますようお願い申し上げます。



▲東雲山村広場の桜